

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	<p>「質の高い教育」について、私の経験からして、子どもの教育にはきちんと監督する人が居ることが大切だと思う。学校再編により教育の質を落とさないようにしていただきたい。</p> <p>また、再編にかかる資金についてだが、昔オイルショックの真っ只中に体育館を建設した際に、父兄により組織を作り、募金を集めたことがある。先生方にも大変な負担をかけた。資金難によって保護者に心配や負担をかけないようにしていただきたい。</p>	<p>学校だけで解決できない課題もあるので、今後も地域の協力をいただきつつ進めていきたい。さて、どのように教育の質を担保していくかということだが、これまでは研修等で1人1人の先生の指導力をしっかりつけて、個別に子どもと向き合う取り組みを行ってきた。しかし、多様性が求められる時代になり、それだけでは課題解決を図ることができず、近年ではチームでの指導に重点が置かれるようになった。再編により一定規模の教職員体制が確保されれば、それぞれに得意な分野がある教師が集まることで、指導の幅が広がり、質の高い教育に繋がられるのではないかと考えている。</p> <p>確かに以前は、学校などの公共施設の建設にあたって、募金を集めることがあった。しかし現在では、建物の本体工事の資金を募金等で集めることは現実的でなく、当然考えていない。ただ、地域やPTAの方に公民館等の備品を寄付していただいている実態もあり、ご負担をかけていることと思う。これらについては、学校再編を行い、適正規模の学校を整備することで、資金を統合後の学校に集中させることができるようになる。今より子どもたちの教育環境を向上させることが可能になり、地域や保護者の負担も少なくなるのではないかと考えている。</p>
2	<p>学校跡地の利用について、他の地域で上手な活用を行っている事例があれば教えていただきたい。</p>	<p>説明したとおり、本市における学校跡地の活用計画は白紙である。近隣自治体を見ると、活用に至ったケースはまだ少ない。みやま市では、旧山川南部小跡地をバイオマスセンターや起業支援施設「ルフラン」として整備したが、旧上庄小跡地はそのままの状態である。県内では、東峰村の旧小石原小が宿泊複合施設に改修された事例がある。企業誘致の事例では、県外であるが、熊本県菊陽町に世界的な半導体メーカーが進出するのに関連して、関係企業が玉名市の学校跡地を取得し、校舎を解体した上で工場用地にするとのことである。</p>
3	<p>スクールバスの導入に関して、現時点で決まっていることがあれば教えて欲しい。</p> <p>小学校校区は旧市町を跨がないとのことだが、ここ矢ヶ部校区は旧三橋町で、場所によっては旧柳川市の柳城校区に近い。どのような対応となるのか？</p>	<p>現時点では、スクールバスによって遠距離通学の課題を解決するということしか決まっていない。詳細は再編協議会(仮称)で検討していくが、所要時間等の関係で各家庭を回るのは不可能だと考えている。基本的には、拠点を設けて効率的に周回する形をとりたい。また、他の校区では「バスを使うと子どもの体力が落ちるのでは？」という意見が出たが、これについては学校から少し離れた場所に下ろして、そこから集団登校を行うことも方法としては考えられる。参考にしたいと考えているのは、みやま市の桜舞館小の事例で、マイクロバス4台が別コースを2往復している。</p> <p>説明の中で申し上げたが、再編にあたって、既存の校区を組み合わせ、かつ旧市町の範囲を超えない組み合わせとした理由は、小学校区と地域コミュニティの結び付きが非常に強いためである。現在でも、公民館連絡協議会や区長会など多くの地域組織が旧市町のまわりで動いている背景がある。将来的に、更なる学校再編が必要になった際、旧市町の枠組みを取り払えるような状況になっていけば、その時に検討されるべき課題だと思うが、現時点では旧市町を飛び越えることは難しい。</p>

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
	<p>旧三橋町地区の小学校は、矢ヶ部小以外、改修等できれいになっているそうだが、再編後に(仮称)三橋小となる現三橋中は、校舎が古く、和式トイレもあり、トイレを我慢することもあると子どもに聞いたことがある。再編にあたっては、現三橋中をリフォームするのか？改修済みの小学校が閉校になるのはもったいないと思う。</p>	<p>確かに現三橋中は、教室と廊下の窓枠が木枠であるなど古い校舎であるが、小学校へ転用する際には、必要な改修を行う予定である。しかし、全てを一度に改修することは難しいため、長期的な視点で整備を行っていきたい。再編により学校数が減ることで、今より資金を集中させることも可能になると考えている。また、トイレの洋式化は随時進めているが、現在の生徒数に比べて学校規模が大きく、トイレの数が多いため、改修できていないトイレもある。引き続き、子どもたちが快適に過ごせる学校環境の整備に取り組んでいきたい。</p>
4	<p>学校の人数が増えると教職員の負担も増えるし、子どもたちに目が行き届かなくなる。また、クラス替えがあることはプラスの面ばかりではないと思う。</p>	<p>小規模校の方が良いという場面も確かにある。ただ、少人数で上手くいっている場合は良いが、問題が発生したとき、子どもも少ないが対応する教職員も少なく、クラス替えもできない状況になる。また、先生側から見ると、学年に1クラスしかない場合、若手であってもベテランであっても学年を1人の先生が受け持つことになり、学級運営の負担が大きい。例えば、学年に3クラスある場合には、ベテランから若手までバランスよく先生が配置される可能性が高く、先生たちがチームで対応することが可能になる。複数の先生がいれば、それぞれ得意な分野や目がいきやすい分野が異なるため、多角的な視点から子どもたちに目を配ることが可能になり、子どもにとっても、教職員にとっても好ましい環境になると考えている。</p>
	<p>学童保育は今後どうなるのか？また、帰りはスクールバスで送り届けてもらえるのか？さらに、中学校では部活動で帰りが遅くなると思うが、スクールバスで送り届けてもらえるのか？</p>	<p>学童保育については、子育て支援課の所管であるが、必要な規模を新しい学校内に確保したい。校舎の中に設置できない場合には、学校敷地内に整備することも考えている。ただ、学童保育は保護者によるお迎えが原則であるので、現行通りの対応をお願いする。また、中学校における通学方法は、徒歩または自転車と考えているため、いわゆる部活便といったスクールバスの導入は想定していない。</p>